

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bei&bpi(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桂中学校	階数	地上3F
建設地	大阪府八尾市桂町四丁目47番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年8月1日
敷地面積	36,079 m <sup>2</sup>	作成者	(株)INA新建築研究所 仲川
建築面積	3,333 m <sup>2</sup>	確認日	2014年8月6日
延床面積	7,224 m <sup>2</sup>	確認者	(株)INA新建築研究所 北 伸一郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記+②以外の 86%  
④上記+ 86%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>個性的な外観や、クラスター形式の校舎配置からかつて「東洋一の中学校」と謳われ、まちのシンボルとして愛されてきた既存校舎に対する人々の記憶と想いを継承するため、施設計画方針を「地域と絆を育む愛される学校」とし、以下のコンセプトを掲げ、建物計画を行いました。①学習環境の質の向上を目指した学校 ②安心・安全な学校 ③周辺環境や自然環境に配慮した、環境にやさしい学校</p>	<p><b>その他</b></p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>基本となる教室は南向き配置とし、明るい室内環境とする。 南側の教室窓には日射熱負荷の抑制や日差し対策としてライトシェルフを設ける。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>学年スペースゾーンと特別教室ゾーンを明快に分けた使いやすい配置計画とする。 1階講堂は地域開放を想定し、地域と連携したコミュニティスクールとする。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>屋上屋根面に太陽光発電パネルの設置。 階段室上部や屋上にハイサイドライトを設け、自然換気システムを導入する。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水型の衛生器具を採用し水資源の保護を図る。環境負荷の少ない自然材料、廃棄物などの再利用品や再生利用した資材材、低環境負荷材料(エコマテリアル)を内外装材や外構舗装材等に採用する。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>既存樹木も生かしながら敷地周囲を積極的に緑化することで、地域環境に配慮する。 南側グラウンドを雨水貯留場所として計画し、雨水流出抑制に配慮する。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>住宅地域のため、建物高さを可能な限り抑え圧迫感の低減を図る。既存建物よりも敷地境界からの空き距離を確保した配置計画とする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	桂中学校		
	建設地	大阪府八尾市桂町四丁目47番		
	用途/区分	学校		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

### 【評価項目】

省エネルギー対策	① CO2削減			
	② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 1.0	3
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	

みどり	③ みどり・ヒートアイランド対策		
ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	

### 【その他】

先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
	自然換気システム	自然エネルギーを活用するため、階段室上部及び屋上に導入する。
特に配慮した事項	まちのシンボルとして愛されてきた既存校舎に対する人々の記憶と思いを継承するため、施設計画方針を「地域と絆を育む愛される学校」とし、以下のコンセプトを掲げ、建物計画を行いました。①学習環境の質の向上を目指した学校 ②安心・安全な学校 ③周辺環境や自然環境に配慮した、環境にやさしい学校	